

そう だい
総 題 「ヨシュア記に学ぶ信仰の教訓」

だいな なか きゆうきよく ちゆうせい せんじょう れいはい じゅういちがつじゅうごにち
第7課 究極の忠誠——戦場での礼拝（11月15日）

ひろまえ さきと
廣前 早輝人



いち あんそくにちご
1. 安息日午後

あんしょうせいく
【暗唱聖句】

なに かみ くに かみ ぎ もと ぐわ あた
「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられ
る。」（マタイによる福音書 6：3 3、新共同訳）

にちじょうせいかつ かみさま くに かみさま ぎ いちばん もと じぶん つごう いちばん
日常生活において神様の国と神様の義を1番に求めているでしょうか。自分の都合を1番にし
てしまうような弱さは取り除かれねばなりません。今週は、危険で不安な時に、神様にもう一度献身
するイスラエルの姿を学びます。



に にちようび けいやく
2. 日曜日：まず契約

「あなたの家で生まれた奴隷も、買い取った奴隷も、必ず割礼を受けなければならない。それによ
って、わたしの契約はあなたの体に記されて永遠の契約となる。」（創世記 17：1 3、
新共同訳）

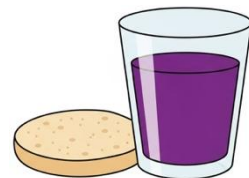


かれ かみさま けいやく かみさま けいやく いちばん
彼らはまず神様との契約をきちんとしなけりませんでした。神様との契約を1番にする
ことは、神様に真心を込めて仕える行為でした。私たちの日々の戦いは自分のものではありません。
それが神様のものであることを理解し、日々新たに献身することを覚えましょう。

さん げつようび すぎこしさい
3. 月曜日：逾越祭

「だから、あなたがたは、このパンを食べこの杯を飲むごとに、主が来られるときまで、主
の死を告げ知らせるのです。」（コリントの信徒への手紙 一 11：2 6、新共同訳）

イエス様が定めてくださった晩餐（聖餐式）は、私たちを十字架へと導きます。主の尊
い犠牲をいつも心に留めておくためには、神様が何をしてくださったのか、毎日の恵みを思い
出す必要があります。



4. 火曜日：再生の祭壇

「ただ、強く、大いに雄々しくあって、わたしの僕 モーセが命じた律法をすべて忠実に守り、右にも左にも



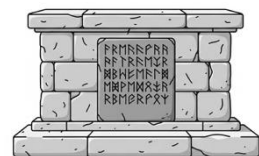
それではならない。そうすれば、あなたはどこに行っても成功する。」(ヨシュア記1：7、新共同訳)

律法に従っているかどうかは、人類の運命における大きな問題です。それは戦争に勝利することより大切な問題でした。祭壇を通して、礼拝を通して、イエス・キリストを通して、私たちは神様にすなおに従うことを学ぶことができます。

5. 水曜日：石に刻む

「ヨシュアはこの祭壇の石に、モーセがイスラエルの人々のために記した教えの写しを刻んだ。」(ヨシュア記8：32、新共同訳)

人間は忘れやすい生き物です。彼らは石に律法を刻むことで、神様から与えられた恵みと神様に従うことの大切さをいつも思い出しました。私たちは神様の律法をどのように刻み、覚えることができるでしょうか。



6. 木曜日：主の臨在を切望する



「わたしはあなたたちのうちを巡り歩き、あなたたちの神となり、あなたたちはわたしの民となる。」(レビ記26：12、新共同訳)

聖所は、ご自分の民の中に住まれるという神様の約束の成就をあらわしています。やがて、神様が永遠に神様の民の中に住まれる時が来ます。その時を信じて待ち望みましょう。

7. 金曜日：さらなる研究

「彼らは、十字架の影ではなくて、救いの光の中に立っている。彼らは、義なる太陽キリストの輝かしい光に向かって魂を開くのである。」(『各時代の希望』第72章)

罪を悲しむのではなく救いの恵みを喜び、自分ではなく神様に目を向け、神様の光の中で養われる時、私たちは神様の栄光を輝かせるものへと成長していくことができます。



<話し合いのための質問>

★あなたにとって神様を覚えることは簡単でしょうか、難しいでしょうか。なぜそう思うのでしょうか。

★まず神様の国と神様の義を求めるために、何ができるでしょうか。